

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>平成28年度 PowerPointの活用による学びの振り返り(言語化)を促す授業実践</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)</p>	<p><input type="checkbox"/>国語 <input type="checkbox"/>社会 <input type="checkbox"/>算数/数学 <input type="checkbox"/>理科 <input type="checkbox"/>生活 <input type="checkbox"/>音楽 <input type="checkbox"/>図画工作/美術 <input type="checkbox"/>家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/>体育/保健体育 <input type="checkbox"/>道徳 <input type="checkbox"/>外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/>総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/>特別活動 <input type="checkbox"/>自立活動 <input type="checkbox"/>各教科等を合わせた指導 ■その他の教科 <input type="checkbox"/>その他( )</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>情報「現場実習の成果報告をしよう」</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>・PowerPointの基本的な操作ができる。 ・PowerPointの活用を通して、聞き手にとっての分かりやすさを意識した発表資料作りができる。 ・自分が経験したことを整理しながら、自分なりの表現で言語化する。</p>
	<p>観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)</p>	<p><input type="checkbox"/>「知識・理解」 ■「技能」 ■「思考・判断・表現」 ■「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/>その他( )</p>
<p>学習集団と子どもの実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p>■特別支援学校 <input type="checkbox"/>就学前 <input type="checkbox"/>小学生 <input type="checkbox"/>中学生 ■高校生以降 <input type="checkbox"/>特定されない 2年 8人</p>
	<p>対象の障害</p>	<p><input type="checkbox"/>視覚障害 <input type="checkbox"/>聴覚障害 ■知的障害 <input type="checkbox"/>肢体不自由 <input type="checkbox"/>病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/>言語障害 <input type="checkbox"/>自閉症 <input type="checkbox"/>情緒障害 <input type="checkbox"/>LD(学習障害) <input type="checkbox"/>ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/>その他</p>
	<p>子どもの課題(特性・ニーズ)</p>	<p><input type="checkbox"/>見る <input type="checkbox"/>聞く ■話す <input type="checkbox"/>読む ■書く <input type="checkbox"/>計算する <input type="checkbox"/>推論する <input type="checkbox"/>運動と姿勢 <input type="checkbox"/>日常生活活動 <input type="checkbox"/>不注意 <input type="checkbox"/>多動性・衝動性 <input type="checkbox"/>社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/>覚える・理解する ■その他 ・漢字を調べたり、文字を書いたりすることに時間を要する。 ・自分が伝えたいことを要点を絞って話すことが難しい。 ・自分の経験を順序立てて整理することが難しい。 ・パソコンを使った学習に興味がある。</p>
<p>ICT活用について</p>	<p>使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)</p>	<p>【ハードウェア】 ・パソコン 【ソフトウェア】 ・PowerPoint</p>
	<p>活用のねらい</p>	<p>Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/>A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/>B1情報入手支援 <input type="checkbox"/>B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 <input type="checkbox"/>C2認知発達支援 <input type="checkbox"/>C3社会生活支援) ・興味・関心を生かした機器の使用により、漢字や文字に対する苦手意識を軽減する(=情報の授業で取り組む意図)。 ・ソフトウェアの特長を生かして、簡潔な表現や見やすさなど、聞き手にとって分かりやすい発表資料作りを意識できるようにする。 ・自分の経験を振り返る際のポイントをスライドごとに明確にし、自分なりの表現で言語化できるようにする。</p>
<p>授業に授お業け展る開支援</p>	<p>授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)</p>	<p>【現場実習事後学習と関連させた授業】 1 PowerPointの操作方法の学習 ..... 1時間 ・PowerPointの特長を説明 2 現場実習の振り返りと成果報告の内容確認 ..... 1時間 ・成果報告会に向けた注意事項(聞き手にとっての分かりやすさなど)の説明と意欲付け 3 現場実習の成果報告会に向けた資料作り(PowerPoint) ..... 2時間 ・聞き手にとっての分かりやすさ(表現や文字の大きさ、分量など)についての説明、支援 ・報告内容をスライドごとに整理したり、自分なりに表現したりすることの支援 4 現場実習の成果報告会、学習のまとめ ..... 1時間 ・発表したことへの達成感を得ることができるような働きかけ</p> <div data-bbox="1193 1518 1437 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p style="text-align: right;">発表資料の例</p>
<p>効果・評価</p>	<p>子どもの様子や変容および授業の評価</p>	<p>【生徒の様子】 ・パソコンを使用することで興味をもって取り組むことができ、スムーズに文章入力することができた。 ・聞き手にとって見やすい文字の大きさや分量を意識することで、簡潔な発表資料を作ることができ、発表場面においても要点を絞って説明することができた。 ・スライドごとに項目を設定することで、自分の経験を順序立てて整理することができた。 【授業について】 ・意図したねらいについては、概ね達成することができた。 ・様々な行事などの機会を活用して繰り返し学習することで、学習成果の定着を図りたいと考える。</p>